

# 砂川駅前地区整備基本設計ワークショップで出された意見概要

砂川駅前地区整備基本計画を踏まえ、「①本施設をどのように使いたいか」「②①のために必要な施設・広場のつくりや設備等」について意見を頂きました。

## (1)屋外広場

使い方	必要な広場のつくりや設備等
フードフェスを行いたい。	電気、水道、音響設備
イベントを開催したい。参加したい。	屋外ステージ(移動式),ただの芝だけでなく階段状に整備,キッチンカー。
ウェルネスイベントがあれば。	
ハンモック、焚火、水遊びができれば。	芝
学生が小中学生に勉強を教える青空教室イベント	机、椅子
子ども達が安全に走り回れる。	
待ち合わせ場所として。	真ん中に芝生で周囲を舗装,目印となるようなカプルチェア。イルミネーション。

## (2)フリースペース

使い方	必要な広場のつくりや設備等
仕事の作業場として使いたい。打合せで使いたい。	テーブル、椅子、Wi-Fi
カフェの客席として使用すると良い。	//
ゼミ活動として使いたい。	//
食事、読書ができる場所として使いたい。	いわた書店選書コーナー
ゆっくりしたい。JR・バス待ち、学生の居場所として利用したい。	インスタ映えするような内装デザイン
イベントの催し(物販、学生カフェ)が行われればよい。	地元企業とのコラボメニュー,アンテナショップ
遊ぶ子ども達を中から親が見守る。	クッション付きの滑り台など子どもが遊べるスペース。授乳スペース。

## (3)カフェ

使い方	必要な広場のつくりや設備等
消費者としては、複数店の選択肢が有ればより良い。	施設内カフェと競合しないチャレンジショップ
間借りカフェ(昼,夜,日替わり)	
カフェとしての話題性も大事。話題づくりのために、SNSでの情報発信。インスタ映えの要素があれば効果的。	フリースペースと広場の一体性を高めるとともに、国道側からテイクアウトできると良い。

## (4)多目的室

使い方	必要な広場のつくりや設備等
会議として利用したい。	机、椅子、プロジェクター

## (5)観光情報等発信施設

使い方	必要な広場のつくりや設備等
砂川の観光情報を発信。	アメタンマップやスイートロードマップが合わさったアプリの開発。QRコード等で、施設内でしか得られない情報を発信することで集客できないか。

## (6)施設全体・その他

必要な広場のつくりや設備等
施設のガラス面と広場の配置関係や、盛土や植生を含めた総合的なランドスケープデザインがポイントになる。ソフト面では、民間企業と連携することで、経済的にも持続可能な運営体制が可能であると考えます。
内装を飾るイベントなど、変化する施設・内装。
時間帯、季節、利用者に応じて見た目や内装が変化。
地域交流センターゆうとの差別化、役割分担。
掃除、ゴミ拾いボランティアによる様々な年代の交流。
商店街との連携。(コンシェルジュ配置による買い物のハブ化)
病院等との移動手段の確保。(タクシー、人力車)
施設西側のレベル差を利用した有効活用として屋台など
Wi-Fi
倉庫
おむつを交換できる場所
設計含めたデザインが素敵であることは大前提。ただ、意匠が今風でも5~10年までは続かない。持続可能なものとするためには、稼げる施設であるべきだと考えるが、公共施設のため当然公益性が求められる。ただ、維持管理費を抑え、経済効率の高い施設にすることは将来の負担軽減に有効。

本ワークショップで頂いた市民の皆様のご意見を参考に、駅前地区整備の基本設計を進めて参ります。